

Branch Spirit

西日本支部

ナノミストテクノロジーズ株式会社の紹介

安藤由希子

1. 会社の始まり

弊社ナノミストテクノロジーズ株式会社は、阿波踊りや壮大な渦潮のある徳島県鳴門市に本社があります。

創業は、(株)本家松浦酒造場九代目松浦一雄現代表取締役が中心となり、2002年10月本多電子株式会社、有限会社スピリッツ・インターナショナルの共同出資によって、アルコール度数の高い(25度以上)清酒の普及を目指す会社として現在の前身である超音波醸造所有限会社を設立いたしました。

その後、2011年1月社名変更を行い現在に至っております。

2. 会社の理念

弊社は、主として環境関連分野を主たる活躍の場として選択し、下記の理念を掲げて地球環境を良くしたいという理念のもと、環境改善装置や食品・化学分野のユーザー様にご採用いただくことが多くっております。

“Sustainable Spirits!”

1. 世界に先駆けた独自技術で、人類の発展と環境の改善維持に貢献する
2. 顧客の要望を成長の機会と捉え、誠意をこめて対応する。その中に新しい発明発見が生まれる
3. Contribute(貢献する)-Think(考える)-Check(チェックする)-Develop cycle(開発する)をフル回転させ、自分の能力向上を会社の発展と一致させる
4. 顧客と社員とその関係者が豊かになることを目指す
5. 社会の変化とニーズを自己変革の糧とし、チャレンジできる喜びをかみしめる

3. 超音波霧化分離装置

弊社が開発した装置は今でもたいへんユニークなもので、通常は対象とする液体(主として何らかの溶液)を加熱、沸騰させて沸点の違いを利用して行う、蒸留や蒸発装置を、霧化(ミストの発生)で代替しようとするもので、効率よく霧化する対象溶液であれば多くの場合下記のようなメリットが得られます。

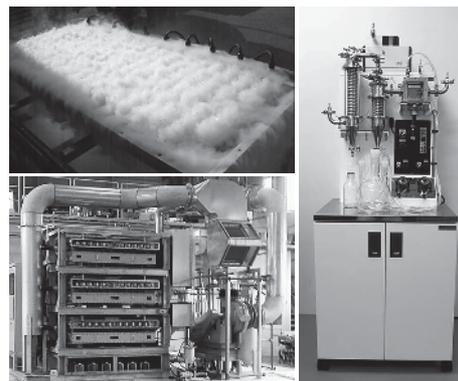


図1. 左上：超音波霧化，左下：廃水処理用大型装置，右：第三代ラボ装置。

(装置の特徴)

1. 超音波を利用した分離装置
2. あまり熱をかけずに溶液の分離ができる
3. スイッチ一つでON/OFF可能のため、従来の加熱法と比べ操作が簡単で動作が機敏
4. 基本エネルギーは電気のみで、コストダウンが見込める

4. 研究開発

経済産業省をはじめ各種の補助金を活用させていただき、関係機関との協力を得ながら開発を進めてまいりました。

- ・ NEDO事業にて、産総研との連携によりバイオエタノール精製装置の開発を行う(2002～2004年)
- ・ 四国経済産業局・新規産業創出支援事業にて、揮発性有機溶剤生成装置の開発を行う(2004～2006年)
- ・ 環境省地球温暖化対策補助事業にて、バイオエタノール製造における糖液濃縮装置開発を三井造船と行う(2007年)
- ・ 四国経済産業局事業・戦略的基盤技術高度化事業にて、VOC回収装置の開発を行う(2009～2010年)
- ・ 四国経済産業局・地域資源活用新事業展開支援事業にて、脱臭装置の開発を行う(2011年)
- ・ 徳島県とくしま産業振興機構・とくしま経済飛躍ファンドにて、医療用溶剤回収装置の開発を行う(2012年)
- ・ 四国経済産業局・地域資源活用新事業展開支援事業にて、廃水処理装置の開発を行う(2012年)
- ・ 中小企業・小規模事業者 ものづくり・商業・サービス革新事業にて、金属加工工程で発生する廃棄洗浄液

- など溶剤のリサイクル装置の開発を行う(2013年)
- ・ A-STEPにて、徳島県立工業技術センターとの連携によりしいたけ軸より抽出した濃縮しいたけエキスの開発を行う(2015年)

5. 受賞歴

研究開発技術に対して各方面からの受賞を多数いただいております。

- 2002年 食品産業センター会長賞受賞
- 2009年 四国産業技術振興センター理事長賞受賞
- 2009年 第3回ものづくり日本大賞四国経済産業局長賞受賞(図2)
- 2012年 東日本大震災をうけてのプロジェクトの一環として行われたU.S.-Japan Councilベンチャービジネスコンクール2012年トモダチ東北チャレンジ(シアトル開催)にて、グランプリ受賞(図3)
- 2012年 徳島ニュービジネス支援大賞受賞

6. 今後の取組み

近年では、余った温泉の利用法として、温泉濃縮のご提案や徳島県立工業技術センターとの連携により廃棄処分のしいたけ軸の有効活用を目的に、しいたけエキスの製品開発を行っており、食品系および6次産業化に貢献できる技術の普及も進めています。加えて大型タンカー内の排ガス処理装置などの開発も進めています。

また、会社の理念でもありますように、「世界に先駆けた独自技術で、人類の発展と環境の改善維持に貢献する」をモットーに社員一丸となって取り組んでおります。

皆さまのお役に立てますよう日々努力してまいります。ご質問・ご相談などございましたらいつでもお問合せいただきますようお願いいたします。



図2. ラボ用超音波霧化分離装置第一号



図3. 米日協会海外評価委員による審査風景



図4. 賞状と記念トロフィー. 左:徳島ニュービジネス支援大賞, 右: U.S.-Japan Council.